

令和4年度第2回国分寺市地域福祉推進協議会

日時：令和5年2月20日（月）午後2時～午後3時45分

会場：リオンホール（cocobunji WEST 5階）

出席委員 39人

【事務局】地域共生推進課長（新井），地域共生推進課重層的支援体制整備担当係長（渡部）
地域共生推進課職員（米田，松井）

次第

1 開会挨拶

2 資料説明

3 取組の紹介

・光公民館を花で彩る ～光公民館運営サポート会議とひかり児童館との連携～

光公民館 館長 勝山 俊也 氏，株式会社明日葉 ひかり児童館 館長 高橋 有一 氏

・本多公民館・魅惑の中庭づくり ～本多公民館運営サポート会議と市民の連携～

本多公民館 木場 理恵 氏

4 グループワーク “私たちのイチ推し” ～人が集まる楽しいところ～

「中庭を楽しむイベント」，または「中庭をPRするイベント」をイメージする

（人が集まり，「興味のあること・得意なこと」をともに楽しみつながって，次のステップに向かうチームづくりをイメージしてみませんか。）

資料

【資料1】国分寺市地域福祉計画実施計画（後期）・国分寺市成年後見制度利用促進基本計画・国分寺市自殺対策計画・国分寺市再犯防止推進計画進捗状況評価報告書（令和3年度）及び国分寺市地域福祉計画実施計画（後期）・国分寺市成年後見制度利用促進基本計画・国分寺市自殺対策計画・国分寺市再犯防止推進計画評価票（案）（令和3年度）に対する国分寺市地域福祉推進協議会の主な意見・感想と市の考え方

【資料2】令和4年度国分寺市地域福祉推進協議会委員の活動情報・取組情報（年度末）

【資料3】令和4年度「新たなつながりを広げることができた取組」

【当日資料1】令和4年度第2回地域福祉推進協議会参加者名簿

【当日資料2】令和5年度国分寺市重層的支援体制整備事業実施計画

【当日資料】福祉の総合相談窓口オープン

【当日資料】みんなで知る・支援につながるヤングケアラー

【当日資料3】光公民館を花で彩る ～光公民館運営サポート会議とひかり児童館との連携～

【当日資料4】本多公民館・魅惑の中庭づくり ～本多公民館運営サポート会議と市民の連携～

開会 午後2時

1 開会挨拶

会長より開会挨拶を行った。

2 資料説明

事務局より資料説明を行った。資料1「国分寺市地域福祉計画実施計画（後期）・国分寺市成年後見制度利用促進基本計画・国分寺市自殺対策計画・国分寺市再犯防止推進計画進捗状況評価報告書（令和3年

度)」は、令和3年度の計画の進捗状況評価を決定した報告書である。また、87ページから90ページまでは、「国分寺市地域福祉計画実施計画（後期）・国分寺市成年後見制度利用促進基本計画・国分寺市自殺対策計画・国分寺市再犯防止推進計画評価票（案）（令和3年度）に対する国分寺市地域福祉推進協議会の主な意見・感想と市の考え方」として、4計画の進捗状況評価に対する当協議会意見を昨年8月にいただいて取りまとめ、市の考え方を整理している。

資料2「令和4年度国分寺市地域福祉推進協議会委員の活動情報・取組情報（年度末）」は、委員の一年間の活動の振り返り等を含めた活動情報・取組情報である。

資料3は、任意に御回答をいただいた「令和4年度『新たなつながりを広げることができた取組』」を集計したが、記載漏れをお詫びし、後日差し替え版をお送りする。

当日資料1は、令和4年度第2回地域福祉推進協議会参加者名簿である。

当日資料2「令和5年度国分寺市重層的支援体制整備事業実施計画」は、当協議会よりいただいた御意見も踏まえ、策定したものである。既存の介護、障害、子ども、生活困窮の相談支援等の取組を活かし、複雑・複合化した支援ニーズへの包括的な支援体制として、属性を問わない相談支援、多様な社会に向けた支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する。6ページは重層事業の実施イメージ図である。一番右下に、当協議会が、地域づくりに向けた支援事業との連携を図る事業として位置付けられている。

青ベースの「福祉の総合相談窓口オープン」のチラシは、相談先に迷う多岐にわたる内容に対応する窓口開設の御案内である。国分寺市社会福祉協議会が受託する地域福祉コーディネーターが、市役所第2庁舎1階、毎週水曜日9時から17時で開設し、電話相談は水曜日以外も対応している。身近な相談窓口として、お困りの方へ御紹介をお願いしたい。オレンジベースの「ヤングケアラー支援啓発事業」のチラシは、昨年10月に実施した講演会と講座の期間限定動画公開の御案内である。本来大人が担うべき家事等を18歳未満の方が担っているヤングケアラーは、世帯の問題として、重層的支援体制整備事業でも取り組んでいく。事前申込制となっているが、ぜひアクセスいただきたい。

3 取組の紹介

『光公民館を花で彩る ～光公民館運営サポート会議とひかり児童館との連携～』

光公民館 館長 勝山 俊也 氏, 株式会社明日葉 ひかり児童館 館長 高橋 有一 氏
勝山館長：御紹介いただきました光公民館館長の勝山でございます。よろしくお願ひいたします。

私の自己紹介をさせていただきます。国分寺生まれの国分寺育ち、実家は富士本で、十小、五中を卒業し、ちなみに私の代が五中の第1期生です。平成元年に国分寺市に入職し、現在も市内在住です。児童館、保育園、現在は公民館と、本庁舎での事務よりも現場を多く経験してまいりました。

公民館は市内に5館ございますが、本日は、光公民館を花で彩る地域と連携した取組を御紹介したいと思います。皆さん、公民館と聞いて、どのようなイメージをお持ちでしょうか。まず初めに、資料3の2ページをご覧ください。公民館の主催事業は、互いに学び合い、地域とつながり、参加のよりどころとなって情報発信を行い、学習を支援しています。利用団体等の活動支援、団体等の相互のより良い関係づくりと交流促進、近隣施設や団体等との連携・協力を図りながら、活動のきっかけとなる場の提供など地域に根差した活動への支援に取り組んでいます。

3ページ、光公民館は、国立駅北側の光町、富士本、高木町、西町を主な対象地域として、在住、在勤、在学、市内で活動されている方々が利用できます。主な利用学区は、第二小学校、第八小学校、第三中学校です。

4ページ、市内4つの公民館は図書館との併設館ですが、光公民館は、唯一の図書館、児童館、学童保育所との複合館であり、このことが、「連携」を進める上で、非常に大切なポイントとなっています。更に、東側に第二小学校、南側に国分寺地域包括支援センターひかり、西側には子ども家庭支援センターがあるなど、非常に恵まれた立地となっています。

5ページ、連携や支援の実施に当たり、地域の特色ある公民館づくりに向けて、事業の企画、実施、地域との連携、公民館の運営を協議する光公民館運営サポート会議を設置しています。かつて各館にあった公民館運営審議会が5館統一となった後、公民館運営サポート会議が各館に設置されました。公民館での活動団体や講座等利用者、自治会、PTA、学校教育・社会教育の関係者などの委員で構成されており、公民館の運営を支え、評価を行いつつ、見守っていただいています。

6ページ、光公民館エントランスの道路に沿って建設当時から花壇があり、職員が、細々と手入れを続けていました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、お祭りや講座の中止にとどまらず、施設閉館となるなど、公民館の運営にとって大きな困難が生じました。私が光公民館に着任した令和3年4月1日は閉館中で、館内に利用者がいない状況でした。

このような中、光公民館運営サポート会議会長の発案で、来館者にとって少しでも明るい公民館となるために、サポート会議を中心に花壇の植え替えが行われました。花のアレンジや栽培知識があるサポート会議の委員には、花や堆肥の選定について協力をいただき、苗は地域の小売店で購入しています。また、清掃センターが配布する燃やせるごみから作られた堆肥も施肥に利用しています。

そして複合館の強みを活かし、児童館に来館している乳幼児親子の方や学童にいる児童に声を掛け、大人と子どもと一緒に楽しみながら、花の植え替えをしています。事業として参加者を広報等により募集するのではなく、児童館との速やかな情報共有を行いながら参加者を募り、利用者の相互の連携も生まれ、みんなに喜ばれる取組となっています。春に夏の花、秋に冬の花を植えて、光公民館は一年中エントランスに花が咲いている公民館となりました。サポート会議委員の方々を中心としたこの取組には、ひかり児童館の高橋館長にサポート会議委員として参加していただいています。ここからは、地域と連携したひかり児童館の運営の御説明に移らせていただきます。それでは高橋館長に交代いたします。

高橋館長：こんにちは。御紹介いただきました、令和4年4月からひかり児童館館長を務めています高橋有一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私ども株式会社明日葉は、ひかり児童館及び第一光町学童保育所の指定管理者として運営を担い、ようやく一年を迎えます。地域の一員として、まだ勉強不足なところも多々あるのですが、いろいろ御助言をいただきつつ、一生懸命努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

資料8ページ、ひかり児童館公式ホームページのトップページです。主にお便りやお知らせなど児童館の情報を適宜発信していますので、よろしければご覧になってください。

9ページ、ひかり児童館の特徴ですが、「光公民館」「光図書館」「ひかり児童館」「第一光町学童保育所」からなる複合館に設置されています。毎日多くの地域の皆様が来館されています。施設ごとにそれぞれ役割が違いますが、日常的にコミュニケーションを取りながら連携し、地域の皆様の大切な施設として運営を行っています。児童館には、地域の方はもちろん、近隣市の利用者もあり、お問合せもいただきます。小中学生の利用者としては、第二小学校の子どもたちや、第三中学校の生徒たちが多い印象です。

市内児童館6か所のうち、公設公営館が2館、指定管理者運営館が4館です。ひかり児童

館の前指定管理者が大切に築き上げてきた業務を引き継いでまいりつつ、私どもの独自性も少しずつ織り交ぜながら運営していきたいと思えます。

10ページ、地域における児童館の役割としましては、地域の子育て拠点の一つであり、主に17歳以下の子どもたちを対象に、健全育成を図ることを目的としながら、安全、安心な居場所として運営を行っています。また公民館、学校、子ども家庭支援センターとのきめ細かな連携を大切にしながら、地域で子どもたちの安全を見守ることも児童館の大切な役割と考えています。児童館の主人公は子どもたちと位置づけ、子どもたちの声を聞き、子どもたち主体の児童館を目指した運営を行っています。児童館の開館時間は、日祝日を除き午前10時から午後7時まで、保育の場である学童保育所の開所時間は、放課後から最大午後7時まで、学校休業日は、午前8時から午後7時までとなっています。

11ページ、館内の様子ですが、1階は受付と事務室、学童保育所、2階は工作室、幼児室、遊戯室とホールがあり、ホールの図書コーナーでは、子どもたちが漫画や読書を楽しんでいます。ドッジボール、卓球、縄跳びなどの運動遊びや事務室から貸し出すカードゲームやボードゲーム等が人気の遊びです。子どもたちのいる部屋には必ず職員が常駐し、子どもたちとコミュニケーションを取りつつ、安全、安心に過ごすための見守りを行っています。

12ページは、今月2月号のお便りです。児童館では、乳幼児親子から小中高生、全年齢など、対象年代を設定した工作、遊び、季節行事等を行っています。市内児童館全館で行っている乳幼児親子の居場所おやこの「わ」は、基本的に週1回開催し、各館で独自性を出しつつ、保護者がつながり合い、子育ての悩みなどを共有できる場となるようにコミュニケーションを大切にしています。行事については、毎回担当職員が緻密にミーティングを行い、季節の伝統行事、音楽、工作、運動等も楽しんでいます。最近設定した「ひかりパーク」という自由広場には様々なブースを設け、利用が多くなっています。併設館であることによる連携の強みとして、光図書館から借用した絵本などをパークの中に展開しています。その他季節行事として、節分や夏の大感謝祭、ハロウィン、クリスマス大感謝祭など、子どもたちと一緒に作り上げて楽しんでいます。

また、例年行なわれている、公民館まつりの開催に合わせて、「わいわいまつり」を実施しています。開催時には、隣接施設の子ども家庭支援センター、地域包括支援センター等との連携も図られており、公民館を始めとした周辺施設のお祭りが10月中旬頃開催されます。児童館の「わいわいまつり」は、昨年3年ぶりに開催され、なんと当日はラッキーセブンである777人もの参加者が来館しました。ボランティアの方、青少年育成西地区委員会、地域で活動されている「わになってあそぼう」、民生・児童委員、おもちゃ病院などの方々の御協力を得て行いました。今後も連携を強めていきたいと思えます。

14ページのクリスマス大感謝祭では、子どもたちの出し物や「やりたい」を集め、企画から準備、当日の進行までを子どもたちが作り上げました。中学生や大学生ボランティアの参加もあり、また光公民館には、音響設備の取扱いについて御協力いただき、円滑に運営することができました。

国分寺市での初めての運営を行う私どもにとって、地域との連携の大切さやありがたさを感じる1年となりました。特に勝山館長には、毎日のように児童館に顔を出してコミュニケーションをとっていただき、児童館職員の働きやすさにつながっていると感じています。

サポート委員として、花を植える活動、合同の避難訓練、お祭り、利用者懇談会など、公民館の様々な活動に参加し、地域とのつながりを深めた取組を進めています。花を植える活

動では、児童館職員のほか来館した乳幼児親子や学童保育所に登所した子どもたちも楽しく参加してくれました。たまたま、お休みだった子どもたちからも、参加したかったという嬉しい声があり、子どもたちは、水やりや雑草抜きなども進んで行ってくれています。

複合館ゆえにできること、また学べること、連携の大切さを意識しながら、子どもたちに健全育成の環境を提供し、これまで以上に地域に根差した皆様の居場所である児童館となるように努めていきたいと思えます。児童館の取組の紹介は以上です。

勝山館長：学び、集い、活動できる地域の拠点として、今後とも近隣関係部署と連携しながら、皆様に親しまれる光公民館を目指し、取組を進めてまいります。近くにお立ち寄りの際は、ぜひ光公民館前の花壇をご覧くださいと思います。光公民館を花で彩る光公民館運営サポート会議とひかり児童館との連携について、御紹介は以上です。ありがとうございました。

会 長：勝山館長、高橋館長、ありがとうございました。続きまして、本多公民館木場さんより取組を御紹介いただきます。よろしく願いいたします。

『本多公民館・魅惑の中庭づくり ～本多公民館運営サポート会議と市民の連携～』

本多公民館 木場 理恵 氏

木 場 氏：本多公民館の木場と申します。よろしく願いします。本多公民館の中庭づくりについてお話をさせていただきます。当日資料4の1ページです。国分寺市は、5つの中学校区ごとに公民館を設置しており、5館いずれも地区独立館となっています。本多公民館は第二中学校区にあり、三小、七小、二中が学区エリアです。国分寺駅北口から徒歩8分という立地ですので、かなり多くの方に利用されている施設です。

2ページ、先ほどもお話のあった公民館運営審議会は、市内5つの公民館全体を把握し、事業や運営の協議、検討及び答申を行う機関です。この公民館運営審議会において、「地域づくりを目指した公民館の在り方、人と人がつながり、学びと地域づくりが循環する公民館活動」について協議が行われ、「公民館の学びと地域づくりの循環を作り出す」ことを軸にまとめがありました。同時に、「地域に根差す公民館の運営体制と課題」について本多公民館運営サポート会議の提案があり、「新たなたまり場としての中庭」について、意見をいただきました。

3ページ、当時、公民館として、地域の皆さんが気軽に立ち寄りたくなる魅力的な公民館の環境づくりや、公共施設予約システムの稼働で少し希薄になった「顔の見える関係」の再構築が必要でした。予約システム導入前の本多では、ホールに120人から150人ほどが集まり、利用希望が重複したときは、互いの活動状況を共有しながら話し合いによって調整しました。システムにより話し合いが困難となり、“顔の見える関係”の再構築に向けて、本多公民館運営サポート会議と連携し、中庭の再生に取り組むこととなりました。

4ページ、以前の中庭です。公民館入口に入って正面、図書館との間にある空間ですが、昭和58年の本多公民館改築以来、約40年間放置され、蚊が多くて長居ができない場所でした。

5ページ、サポート会議との共催で、「中庭を考える講座」を開催し、「みんなが憩う中庭～あなただったら、中庭に何を望みますか～」をテーマに、ベンチ・パラソル・レイズドベッドの配置など、中庭のイメージ図を作成しました。そして5月の本多公民館新緑祭りでイメージ図を展示し、6ページ、多くの来館者に「いいね」のシール投票、貴重なアイデアや意見がたくさん集まりました。

7ページ、中庭を考える講座第2弾では、アイデアを形にして中庭の模型を作り、公民館入口に展示しました。同時に、中庭の除草が必要でしたが、自然に接する機会が減っている子どもたちに向けた虫捕り体験に似せて、草むしり体験として呼びかけて実施し、翌年の新緑祭りでは、経過報告や中庭の模型を展示しました。

8ページ、図書館の窓側から中庭に視線を向けると、人が座っている椅子の位置になるため、目隠しとしてレイズドベッドを置くことにしました。市の契約管財課職員の協力を得ながら、1回で8台のレイズドベッドを制作し、ニス塗りも行い、9ページ、令和2年11月中庭オープンとなり、オープニングセレモニーとしてコンサートを行いました。

そして10ページ、中庭の維持・運営の今後に関わる「人」が課題となり、寄せ植えの講習会で「中庭に関わる方を募集します」というチラシを配りましたが、人は集まりませんでした。そこから11ページ、講座参加者などへの声掛けを行う中で、参加者から興味のある人への声掛けや口コミなどが功を奏し、少しずつ参加者が広がりました。12ページ、13ページは、中庭への参加者の広がりと共に併せて、ここ数年手入れが不十分な前庭の植栽について、造園業の方の御協力を得ながら、中庭と前庭の整備を進めることができました。そして13ページ、令和4年5月に中庭に関わってこられた方々による話し合いが持たれ、「中庭サロンの会」誕生の運びとなりました。現在、「中庭サロンの会」の活動は、年に1～2回の中庭や前庭の手入れ、レイズドベッドのニスの塗り直し、そして中庭の一層の周知、利用数の向上に向けて様々なイベントを企画、実施しています。昨年は「中庭夏祭り」を開催し、紙芝居、バルーン、スーパーボール、水鉄砲、縄でつくる大きなしゃぼん玉、輪投げなど、隣接する集会展示室も使いながら行いました。地域のお祭りの実施が難しい状況にある中で、「中庭夏祭り」にはたくさんの申込みがあり、特に小さい子どもたちが多く参加してくれました。11月はクリスマスリース、2月は押し花キーホルダーなどの制作を行いました。今後とも、「中庭サロンの会」と連携しながら、楽しく中庭を活用した取組を進めていきたいと思っております。取組紹介は以上です。どうもありがとうございました。

4 グループワーク

事務局：次第4「グループワーク」は、机上のワークシート「“私たちのイチ押し”～人が集まる楽しいところ～」を使い、人が集まる場所のイメージを楽しく出し合い、つながりが深まるチームづくりを考えます。「本多公民館の中庭を楽しむ」、または「中庭をPRするイベント」のイベントテーマを決め、シートに表現していただきます。発表は、二つのグループにお願いします。

【発表】

第2グループ：まず初めに、何をしたいのかグループの中で付箋を使って出し合いました。その中で多かったのは、いろいろな音楽が聴けるコンサート、季節に合わせたイベント、食事ができたり、体操したりもいいね、などの話が出た中で、音楽を聞いて食事ができるイベントをテーマとしました。具体的には、赤ちゃんからシニアの方、目上の方まで楽しめるコンサートカフェアンドバーをイメージしました。バーというかたちにしたのは、午前中に準備をしてお昼から夜までとし、昼飲みもできるし夜はお父さんたちの時間ということで、夜仕事帰りに集まって、お酒が飲めるバー、という話が出ました。本多公民館近くに酒店さんがあるということですので、そちらの御協力でお店していただき、そこで飲めたらいい、と考えました。吹き抜けで音楽が聴こえやすいと思われる中庭で、本多公民館の利用団体さんなどのコンサー

トができるといいね、という話が出ました。飲んだり、食事ができたらいい、との話が出て、市内のお店や福祉施設さん等の出店や、「喫茶ほんだ」に注文して提供してもらう、などの話が出ました。開催時期は9月から10月ぐらいの過ごしやすい時期を想定したり、中庭の特徴として、子どもがいきなり外に飛び出る心配がないこと、との意見が出ました。赤ちゃんコーナーは、目の前の本多児童館さんの御協力がいただくのはどうか、など第2グループ盛りだくさんでお話をさせていただきました。以上です。

第4グループ:私たちのグループでは、本多公民館の立地、広さや入口の場所などのイメージ合わせを行い、イベントの内容について楽しくお話をさせていただきました。まず健康をテーマにするのはどうかという話から始まり、屋内か屋外かを考える中で、多世代の人が参加できるお祭りなど、子どもたちも楽しめるものも必要だね、という話になりました。最終的には、みんな大好きなこと、いろいろなことをやってみよう、という内容のイベントをイメージしました。午前中はヨガやボッチャ、健康に関するイベントを行い、午後は、例えば子どもたちが楽しめるようなお祭りを考えました。あと、好きなこと、いろいろなことをチャレンジしてみる、やってみるというイメージで、お茶をたてて楽しむとか、夕方から夜にかけてキャンプ体験のようなイベントも、子どもたちは楽しめるよね、などの話が出ました。イベントの時間帯を三部ぐらいに分けて運営していく形であれば、できるかもしれないね、などの話が出ました。以上です。

事務局：以上で次第4「グループワーク」を終了します。

5 その他

事務局：本日の第2回推進協議会の開催をもって、今年度の全体での活動は終了となります。一年間、地域福祉推進協議会への御理解、御協力を賜りまして誠にありがとうございました。ここで宮崎会長、小川副会長より、一言御挨拶をいただきます。

会長：皆様、本日はお疲れさまでした。今年度も全2回の地域福祉推進協議会を開催することができました。第1回地域福祉推進協議会のグループワークでは、委員相互の情報交換の場として、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた取組や課題について、すばらしい事例報告をしていただきました。多くの皆様から、「コロナ禍の中でもあってもその状況を受け入れて、できる、できないではなく、何ができるかという考えを大切にしてきた。」「対面にすぐるものはない」「人と人のつながりが大切であり、お互いに顔を合わせ、近い距離で寄り添うことがとても大事だと改めて気づかされた。」など、様々な御意見を聞くことができました。また、第2回の資料として、令和4年度の活動を振り返り「新たなつながりを広げることができた取組」では皆様から24の事例報告もありました。

本日は、光公民館運営サポート会議とひかり児童館との連携、本多公民館運営サポート会議と市民の連携の二つの取組について御紹介をいただきました。大変時間をかけながら、しっかりと周りの方を巻き込み、形にしていく取組でした。非常に感銘を受けました。どちらも花壇や植物を通して、「地域とのつながりができた」、「居場所ができた」など、とてもすばらしい取組であったと思います。新たなつながりを広げる上で、この事例報告もヒントになるのではないかと感じています。先ほどのグループワークも盛り上がりましたが、人が集まる楽しいところをイメージするのは以外に難しいものです。

しかし皆様の意見を集約していくと、様々なイベントの開催も不可能ではないと感じました。今年度も皆様に活発な御意見をいただき、無事、地域福祉推進協議会を終了すること

ができましたことを心よりお礼申し上げます。来年度も皆様にお会いできるのを楽しみにしております。本日はありがとうございました。

副会長：皆さん、こんにちは。副会長を務めました、社会福祉協議会事務局長の小川です。去年の4月に着任しましたので、本当に新人ということで、会長の隣に座っていましたが、会に参加させていただき、会長のお話にもあったグループワークの中など、皆さんと顔の見える関係、新しいつながりや地域福祉をつなぐ人の場であると、感じています。これは非常に大切なことだと思います。また先ほど、地域共生推進課の渡部係長より重層の話がありましたが、来年度から重層の事業が本格実施とのことです。今までにも増して、地域と市と一緒に、地域福祉のまちづくりを進め、地域共生社会を作っていかなければいけないと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

加えて今年度と来年度で、市は地域福祉計画の見直しを行っています。来年度は、地域懇談会や説明会、最終的にはパブリックコメントがあり、来年度中に策定する予定です。こちらも地域の皆様の力が絶対に必要です。絵に描いた餅ではなく、日ごろ考え、問題意識を持っていることについて、御意見をお寄せいただければありがたいと思います。来年度、また皆様にお会いできるのを楽しみに、締め御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局：宮崎会長、小川副会長、一年間当協議会の運営に御尽力いただきまして、誠にありがとうございました。今後、3月1日号市報等により、令和5年度地域福祉推進協議会委員を募集いたします。引き続きまして、当協議会への御支援、御協力のほどお願い申し上げます。最後になりましたが、この後、本多公民館の中庭見学会を企画していますので、ぜひ御参加ください。

以上をもちまして、第2回地域福祉推進協議会を閉会いたします。

閉会 午後3時45分